

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【タイトル】

Fate/The black truth

## 【作者名】

バトラ

## 【あらすじ】

六軒島大量殺人事件。

1986年10月4日  
れる右代宮一族惨殺事件。

5日にかけて、六軒島で起こったとさ

事件の真相が分からないことと、近隣の島に流れ着いたメッセージポトルに、事件が魔女によって起こされたとも捉えられる荒唐無稽な内容が書かれていたことから、世の好事家たちからは、「魔女伝説連続殺人事件」とも呼ばれる。

ただし、1人の男の遺体がないことから、世の好事家たちは次第にこの男が犯人ではないかと考えた。

閉じられた猫箱であるがゆえに誰もあの場所で本当に何が起こったのかわからない。

メッセージボトルから全世界である場所では何が起きたかという創造から様々な形で偽書がでて、その結果として、祭り上げられ架空の存在として黒き戦人が英霊と昇格された。

これは、黒き真実として創りだされた男の物語である。

## 六軒島からの来訪

六軒島大量殺人事件。

1986年10月4日  
れる右代宮一族惨殺事件。

5日にかけて、六軒島で起こったとさ

事件の真相が分からないことと、近隣の島に流れ着いたメッセージボトルに、事件が魔女によって起こされたとも捉えられる荒唐無稽な内容が書かれていたことから、世の好事家たちからは、「魔女伝説連続殺人事件」とも呼ばれる。

ただし、1人の男の遺体がないことから、世の好事家たちは次第にこの男が犯人ではないかと考えた。

閉じられた猫箱であるがゆえに誰もあの場所で本当に何が起こったのかわからない。

メッセージボトルから全世界であるの場所では何が起きたかという創造から様々な形で偽書がでて、その結果として、祭り上げられ架空の

存在として黒き戦人が英霊と昇格された。

これは、黒き真実として創りだされた男の物語である。

「召喚の呪文は間違いなく覚えてきたであろうな？」

念を押すように聞いてくる間桐臓硯に、間桐雁夜は闇の中で頷いた。

深山町の丘の頂に聳える間桐邸が、腐臭の臭いが立ちこめる地下深くに隠匿されている轟蔵である。

間桐雁夜は、元々魔術師を嫌悪している。何故、魔術に関わる聖杯戦争に参加するのか。

1年前

遠坂家の娘、遠坂桜が間桐家に養子に出されたのを遠坂葵から聞く。

魔術師がどんなものか、臍硯がどんな奴か知っている雁夜からしてみれば最悪の答えであった。

桜ちゃんを葵さんの所に帰してあげようと覚悟を決めて10年ぶりに間桐家を訪れた。

桜ちゃんを間桐家に置いておかないようにするために臓硯と交渉して聖杯を持ち帰ることを条件として桜ちゃんを解放するために第4次聖杯戦争に参加した。

雁夜は今まで魔術の鍛錬を積んでこなかったため、体内に「刻印虫」を宿すという処置によって即席の魔術師となる。

その代償はあまりに大きく、命を大幅に削られて死人のような容貌となってしまう、魔術を使うだけで文字通り血を吐くほどの苦痛をもなう状態である。

「 告げる。汝の身は我が下に、我が運命は汝の剣に。聖杯の寄るべに従い、この意、この理に従うならば 答えよ。されど汝はその眼を混沌に曇らせ侍るべし。汝、狂乱の檻に囚われし者。我は汝三大の言霊を 纏う七天、抑止の輪より来たれ、天秤の守り手よ ！」

唱えるうちに四肢が痙攣し、無事な右目からも血が出てくる。それでも雁夜の集中は止まらない。

・

.....

この時雁夜は気づかなかったがズボンのポケットに入れていた物と時臣に対する復讐心が共鳴し、臓硯にとっても雁夜にとっても予想外な存在が現れる。

眩しい光から出てきたのは、青紫のスーツを着た男が現れた。

「問おう。お前が俺のマスターか。」

人を嘲笑うような顔で問いかけた。

## 第1話 六軒島の殺人鬼 降臨

雁夜は呆然としながら自身が呼び出したサーヴァントを見た。

その男は自分よりも年下で、恐らく17〜18歳ぐらいの男性だ。服装は青紫のスーツを着て特注品なのか胸元に片翼の印があるがどうみても現代人にしか見えなかった。

雁夜は失敗してしまったと心の中で落胆してしまい、諦めかけてしまいそうだったが、男が

「お前が俺のマスターなのか。どうなんだ？」

と、問いかけてきたので、相手を改めてみると、背筋が凍った。

あの男の目は、戦場で会った殺戮者の目よりも淀んでいた。自分の事をそこらの虫けらを見るような目で語っていた。

“お前はいつまで這い蹲るんだ。早くしないと殺すぞ”



いつまでも呆然としていたら、殺されてしまいそうだったんで慌て答えた。

「はぁ・・・はぁ・・・。俺がお前のマスター」間桐 雁夜だ。・・・お前は俺のサーヴァントか？」

雁夜の答えで男も満足したのか

「そつだ。サーヴァント”バーサーカー”これにより契約を完了する。」

この契約により最狂のサーヴァントが冬木市に降臨する。

翌日、あれから雁夜は召喚によって魔力が消耗してそのまま倒れて気絶した。そんな寝ている雁夜をバーサーカーは倒れた自分のマスタを叩き起こした。

「ぐはぁっ。」

雁夜は突然の痛みからすぐに目を覚まし、元凶のバーサーカーを睨んだ。

「よお。いい夢でもみれたかマスター。」

叩いた本人は意地の悪そうな顔で見下ろしていた。その顔に苛ついたのかすぐに起きあがれた。

「ああ、最悪の気分だ。……………待て。お前何故喋られるんだ？バーサーカーは喋られないはずだ！」

昨日の対応から引つかかる部分があった。何故このサーヴァントは喋られるのか。

バーサーカーはどうでもよさげに答えた。

「俺の人生は最初から狂っていたからな。この程度じゃ何とも感じないぜ。」

どういう意味なのか分からなかったが時臣のサーヴァントに対抗することが出来るのかを確認するため雁夜はこのサーヴァントの能力を見て目を見開いた。

.....

狂化で身体能力が底上げされてもなおパラメーターは平凡だが、スキルなどの能力が反則並みに強い。

.....

単独行動のスキルで自身に負担をかけなくてすむ。ほっとしながら

ら、いくつか不明な点があり聞いてみた。

「お前は何故俺の呼びかけに応じてくれたんだ。」

バーサーカーは俺の言ったことが可笑しかったのかひっひっひと小馬鹿にした笑みを浮かべながら

「お前の憎悪が俺を引き合わせたんだ。お前こそ、誰を憎んでいるんだ。」

その言葉に頭の中に黒いものが出てきた。そうだ。あの男が葵さんや凜ちゃん、桜ちゃんを悲しみに突き落としたんだ。

あの男、時臣の魔術師的思考をもつ腐った野郎のせいだ。

俺自身の手で  
してやる。俺があの人達を幸せにしてやる。

バーサーカーはマスターの憤怒の表情が良いのか嗤っている。

「さあマスター。この狂ったパーティーを始めようではないか。全員  
俺が、殺してやるよ。」

## プロフィール

マスター           : 間桐 雁夜

サーヴァント: バーサーカー

性別               : 男性

真名               : 右代宮 戦人

身長・体重       : 180cm 70kg

属性               : 混沌・悪

筋力               : B

耐久：C

敏捷：C

魔力：B

幸運：D

宝具：A++

クラス別スキル

狂化：D

幸運と魔力を除いたパラメーターをランクアップさせる。言語能力は失われないが残虐性を増す。

保有スキル

カリスマ：E

戦闘における統率・士気を司る能力。Eランクでは統率力は上がるだろうが、士気は格段に低下する。

対魔力：D

一工程（シングルアクション）による魔術行使を無効化する。

魔力避けのアミュレット程度の対魔力。



犯人幻想：B

可能性があるというだけで、世の好事家たちから犯人であると決め付けられたことによって付与された幻想。

可能性があることに對して、初めに結果を決定し、後から過程をこじつけることができる。

なお、相手は幸運値で抵抗判定が可能であり、抵抗に成功すれば、回避又はダメージの軽減ができる。

宝具“魔女世界”の展開中は1ランクアップし、相手の幸運値での抵抗判定の成功率が下がる。

魔女幻想：B

戦人が犯人であると語った様々な偽書の中には、魔女や魔術の存在が現れるものがあり、その物語で犯人の戦人もまた幻想の力を使っていたことにより付与された幻想。

黄金夢想曲の技を現実世界でも使えるようになる。

宝具“魔女世界”の展開中は1ランクアップし、技の威力が増すと

ともに、黄金夢想曲ではSPゲージを消費しなければ出せなかった技も使用可能になる。

チェス盤思考：B

チェス盤をひっくり返すように、物事をイメージする思考術。

相手側と自分側の立場を入れ替えることにより、戦略を練ることができる。

ただし、最善手を指さない相手の場合には、この理論はまったく成り立たない。

仕切り直し：B

思考をすぐに切り替える。

戦闘続行：A

生還能力。瀕死の傷でも戦闘を続け、決定的な致命傷を負わない限り生き延びる。

単独行動：E X

六軒島大量殺人事件において、六軒島に住む住人が皆殺しにされた中、一人だけ遺体が見つからず、生きているのではないかと人々に語り継がれた逸話から聖杯が与えたスキル

マスター不在でも制限なく行動できる能力。

ただ、「犯人幻想」や「魔女幻想」又は「魔女世界」といった猫箱に  
関係するスキル、宝具はマスターがいないと使用できない。

## 宝具

黒き真実

ランク：B

種別：対人宝具

レンジ：

メッセージボトルから全世界である場所では何が起きたかという創造から様々な形で偽書により、右代宮 戦人が犯人となった1つの真実。

認められない残酷な真実を突きつけることで、相手がその真実を認めてしまうと耐久・対魔力が大幅にランクダウンする条件付発動型の宝具。

また、この宝具は人々が戦人犯人説として創られた右代宮 戦人の象徴（シンボル）でもあるため常時開放型に切り替えることも可能。常時開放型の場合は“魔女幻想” スキルによる黄金夢想曲の技でダメージを与えると相手の耐久・対魔力が1ランクダウン状態になる。

## 魔女世界

ランク：???

種別：???

レンジ：1人〜??人 最大??人

猫箱の外からは中の様子が視認できなくなり、また、たとえ令呪を持ってしても外からでは中に干渉できなくなる。

この世界を展開しているときは、様々な幻想が出来るようになり、猫箱の中にいる者たちは、自分たちが猫箱の中にいることを自覚できなくなる。

保有スキルの「犯人幻想」と「魔女幻想」がそれぞれ1ランクアップする。

また、相手にあらゆる攻撃でダメージを与えると、自身が回復する能力もある。

全てを決る黒き真実

ランク：A++

種別：対人宝具

レンジ：1人〜2人

エンドレスナインと同じ能力 対魔法抵抗力の数値。 神話級の魔法攻撃さえ通用しない。

手に圧縮ビームなどでダメージを与えるとともに、この宝具を発動している間はエンドレスナイン状態になる。

なお、この宝具の発動には、宝具「魔女世界」の展開中であることが条件である。